

平成29年度 村上市地域包括支援センター月別事業実施状況

資料3

目 標		大目標:高齢者自身の積極的な参加のもとで、地域と行政の協働による環境整備を通じて、誰もがふれあい、たすけあい、ささえあいながら、安心して生活することができる地域づくりを推進する。												第6期計画の基本理念「地域で安心して健やかに心豊かに暮らせるまちづくり」をめざし、地域包括支援センターとしてできることを大目標にあげ、中目標には実現するための具体的な目標、小目標には具体的な取り組みをあげた。			
目 標		中目標:①介護予防・日常生活支援総合事業の充実に向けた検討を行う。②認知症施策の推進 ③生活支援サービスの体制整備 ④在宅医療・介護連携の推進 ⑤成年後見制度利用促進のため体制整備															
目 標		小目標:①訪問・通所サービスの緩和した基準によるサービスの検討を行う。②通いの拠点づくりを新たに1地区実施する。③認知症初期集中支援チームの設置を行う。④協議体と生活支援コーディネーターを中心に地域での助け合いのしくみづくりを進める。⑤ときネットの住民への周知を行い、利用促進を図る。⑥成年後見制度の市民後見について検討を始める。															
項 目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備 考	課題・その他		
全体	地域包括支援センター運営協議会			27日									22日	任期H29.4.1～H32.3.31	地域包括支援センターの運営等について、ご審議いただく。介護保険運営協議会と同日に年間2回開催。		
	包括担当者連絡会	24日	29日	26日	24日	28日	25日	30日	27日	25日	29日		5日・19日	毎月1回実施13:30～16:30	各種事業打合せや検討、研修会復命等を行い、業務が円滑に進められるようにする。		
元気応援通所サービスC	荒 川		元気応援あらかわ教室1コース(16回)5/23～9/12 火曜日)					元気応援あらかわ教室2コース(16回)10/24～2/23 火曜日)						NPO法人健康サポートプラス	高齢者実態把握訪問により参加動員を行い、11～15名参加。参加者は、毎回楽しく参加したとのことだった。リハ大による個別リハビリ指導が丁寧で大変好評であった。今後も新規参加者の参加動員を図りたい。		
	神 林					8月22日～2月13日 隔週火曜日 計25回							さつき園に委託	参加者は毎回楽しく参加されていた。終了時、まだ参加したいという方も大勢いたが、できない旨を理解してもらった。次の教室を紹介し、そちらへ参加が決まっている方もいる。次へつなげて、良かった。途中でやめられた方がいた。			
	村 上		5月23日～12月19日 毎週火曜日 計30回												ウェルネスむらかみに委託	申し込みは定員に達したが、体調不良や介護保険申請、家庭の都合等で途中終了する人が多かった。交通手段がないために終了する人もおり、送迎については今後検討が必要。	
	朝 日		元気応援あさひ教室(9月6日～2月28日 毎週水曜日 計25回)													羽衣園に委託	今年度は運動や栄養などでチェックのついた方に個別指導を実施したためか、改善が見られた方が増加した。
	山 北		前期:5月24～8月9日 毎週1回 15名				後期:10月4日～12月20日 毎週1回 9名									山北徳洲会病院に委託	実施期間が3か月と短期間のためか、ほとんどの参加者の体力測定結果は現状維持レベルが多かった。参加者の内1名が教室に参加して「正座ができるようになった」とのこと。委託先のリハビリ専門職による指導が充実しており、参加者から好評を得た。
介護予防・日常生活支援事業	元気クラブ(荒川)		6/15～2/22 (18回 月2回木曜日午前中)					会場 荒川保健センター						NPO法人健康サポートプラス	15名程の参加者あり、毎回楽しく交流しながら認知症予防に取り組んでいた。途中から参加される方も増えている。継続希望者も多い。		
	元気クラブ(神林)		実施期間 (5月～2月 毎週金曜日 計20回)					会場 神林保健センター						NPO法人希楽々に委託	参加者は継続参加を希望されるほど、笑顔が絶えない楽しい教室である。新規参加者の参加動員を図れると良い。		
	元気クラブ(村上)	11・25日	8・29日	13・27日	3・24日	7・21日	5・19日	2・9・16日	7・21日	11・18日	8・22日				レクリエーション協会に委託	5～2月の開催。リピーターが多く、参加者が固定化してきている。最高齢者は101歳で、介護認定を受けている参加者もいる。	
	元気クラブ(朝日)	4月28日～12月22日 金曜日(概ね月2回) 計16回					会場:朝日保健センター								愛ランドあさひに委託	教室全体の雰囲気もよく、レクリエーション等を楽しみながら行っているため、継続参加を希望する方が多い。課題は、来る手段がないために参加できない方がいることや定員超過などである。	
	元気クラブ(山北)						寒川集落 毎週1回 全7回			大集落 毎週1回 全8回					介護予防事業ボランティアを中心に直営で実施	開催した2集落共に、教室中盤頃より、参加者の気持ちは動作が活性化した様子が見られた。集落センターを会場としているので、参加者が限定される。	
	転倒予防教室	荒川:4か所・神林:26か所・村上:36か所・朝日:14か所・山北:2か所													集落の集会所などで転倒予防運動を実施	実施集落においては継続希望があるが、新規実施集落を増やしたい。	
	水中運動		9・16・23日	6・13・20・27日	4・11・18・25日		5・12・19・26日	3・10・17・24日	7日							ウェルネスむらかみに委託	腰痛やひざ痛の方への負担が少なく、筋力アップや運動の継続につながっている。年々参加者が減少傾向にある。
	脳トレ運動教室	11・18・25日	1・8・15・22・29	13・20・27日	3日	14・21・28日	5・12・19・26日	9・16・30日	7・14日							ウェルネスむらかみに委託	定員30名のところ52名の申し込みがあり、前回参加者に後期開催まで待ってもらった。継続参加希望者が多いが受け入れ切れないのが課題。
	ゆーとびあ【むらかみ】	1コース40回(3コース:水・木・金) H29年4月12日～H30年3月15日													村上レクリエーション協会に委託	介護予防体操やレク活動を通して、運動機能の維持や認知症・閉じこもり予防につながっている。新潟リハ大学の協力によるリハ指導で、自宅でも運動が日課となったという人が多かった。	
	男前カラダ改善教室	19・26日	2・9・16・23・30	14・21・28日		15・22・29日	6・13・20・27日	10・17・24日								ウェルネスむらかみに委託 1コース10回 2コース実施	参加者が定員(20名)より少なかった。より多くの方に参加してもらえるようなPRが必要。運動の効果や楽しさを実感したり、参加者同士の交流が深まったりよい雰囲気でも実施されていた。
	元気応援C 卒業生の会														しゃっきり2 週1回 全10回コース	ウェルネスむらかみに委託	元気応援むらかみ教室の継続参加者はほぼ全員参加し、卒業生の運動継続につながっている。昨年の卒業生や一般高齢者からの申し込みも多く、対象の絞り込みに検討が必要。
			はばたき会1コース(8回)5/23～9/5(月2回火曜日午後)					はばたき会2コース(8回)10/24～2/13(月2回火曜日午後)							健康サポートプラスに委託	元気応援Cの時より参加者が2、3名ずつ減った。引き続き参加されている方たちは、和やかに交流を深めながら運動にも、取り組まれていた。卒業後の行き場所が欲しいとの声あり。	
			リフレッシュ体操しゃんしゃん編(1コース12回×2グループ)(月2回 木曜日午前)					リフレッシュ体操しゃんしゃん編(1コース12回×2グループ)(月3回 木曜日午前)							NPO希楽々に委託	元気応援通所サービスCを卒業された方が参加されている。筋トレ、脳トレ、エアロバイク等、様々なことを組み合わせた教室となっている。様々なレベルの方がいるため、どこに合わせるかが課題。高根いっぶくどころは、週1回通いの場を開催。土曜日に開催するようになり、子どもたちとの交流の機会にもなっている。塩谷は買い物支援+男性の居場所ともなっている。	
	地域介護予防活動支援事業 (高根・塩谷)	高根:いっぶくどころ(空き家改修)4/1～翌年3/31までの毎週土曜日・午前・塩谷:めでたや、買い物支援+居場所4/1～翌年3/31までの毎週火・金曜日													高根:一般社団法人わあら・塩谷:めでたや		
	地域リハビリテーション活動支援事業	在宅リハビリ指導30件中10件利用 介護事業所リハビリ講習会(10/27) 介護事業所個別指導(10/3,10/17,10/31)													地域のリハビリテーション専門職から派遣	在宅リハビリ指導の利用者が予想よりも少なかった。講習会については対象者を広げたので大勢に参加していただいた。個別指導は好評で事業所も日々の介護に取り組み、悩み解消につながった。	
	介護予防運動指導者養成講座							村16日、23日、30日	村6日 神16日、23日、30日 朝日:10日、24日	神9日、16日 朝日:1日、6日					村上:ウェルネスむらかみ、神林:希楽々、朝日:愛ランドあさひ	指導者の立場で実践的に学ぶ講座。今後の活躍の場について再考。	
	介護予防講演会									9日					演題～やってみようから、やってみよう～ 「自分たちにあった居場所づくり」	各地区、様々な形の集いの場が紹介できてよかった。リハ職を中心に考案した「むらかみ体操」のお披露目もできた。	
	介護予防把握訪問	荒川	荒川		荒・村	荒・村								荒川	高齢者実態把握のための看護師等による訪問	元気応援あらかわ・むらかみ教室の参加者動員はできた。荒川地区の教室は半数が実態把握訪問からつながった。	
介護予防事業打合せ会							5日						2日	介護予防事業を委託しているスポーツクラブ	転倒予防教室の今後の方向性や評価の仕方について共通理解できた。むらかみ体操の普及啓発に向けての話合いもできた。		

項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考	課題・その他			
包括的支援事業 (地域包括支援センターの運営)	高齢者総合相談事業	物忘れ相談会	17	15	19	24	21	25日	16	20	18	15	19	12	毎月1回(月曜日)実施9:30~11:30 支所単位で相談会を実施	月1回の相談日を設けているが、認知症に関する相談は随時ある。神林地区では告知端末を利用してから(H29年度から)、参加者が増加した。相談後、次へつなげられるきっかけになった。		
	権利擁護業務	成年後見制度の活用促進				13日					21日					福祉課と共催で実施	課題の第三者後見人の不足について、平成30年度から社協の法人後見実施に向けた支援や利用支援事業要綱改正を行った。	
		高齢者虐待防止ネットワーク会議										23日					高齢者虐待の防止や早期発見、虐待を受けた高齢者や養護者に対する適切な支援を行うために開催。今後の虐待防止に関する取り組み、相互の連携を図るための意見交換を行った。	
		消費者被害の防止							31日								消費生活サポーターフォローアップ講座を受講。市内の消費生活サポーターと情報交換を行った。今後、高齢者の詐欺被害防止に向け連携のためのよい機会となった。	
	包括的・継続的ケアマネジメント (ケアマネ・介護サービス事業所連絡会など)	全 体						研修会①	研修会②								ケアマネジャーのケアマネジメント力の向上を図るため、外部講師を招いての研修会を開催する。(関川村と共催)2回目はサービス事業者(管理者や相談員)も対象とした。	
		荒 川					10日					15日					各事業所との情報交換会の他、外部講師を招いての勉強会も併せて実施した。村上・荒川地区合同の事例研究会に参加した。	
		神 林	13日		22日				12日		14日	15日				事例検討会と、勉強会を行い、スキルアップを図った。また、各事業所との情報交換も実施し、ケアマネジャーとの連絡調整を行った。事例検討会では、各事業所ごとに行い、ケアマネジャーが主体的となり進めた。		
		村 上		18日		13日		14日		16日		18日	15日			連絡会の他、1月に事例研究会を開催	2か月に1回開催。市全域の居宅介護支援事業所に参加可能としている。市や包括からの情報提供の他、ミニ講話・ミニ勉強会のような企画も織り交ぜながら行う。双方向に意見などを交換する場でありたいが、参加規模も大きいので、やや一方的な情報伝達の機会になってしまっている。	
		朝 日		24日						19日			7日				今年度より事例検討を開始。事例検討では、地区担当保健師も参加し、ケアマネだけでなく保健師のスキルアップにつながった。	
		山 北			22日					12日				15日			地区内居宅介護事業所との情報交換の他に主任介護支援専門員更新研修要件に沿った内容で事例検討会を実施することで、参加者の意欲向上とスキルアップが図れた。	
地域ケア会議																処遇困難ケース(成年後見制度・単身高齢者で地域の見守りが必要なケース)について行った。(2件)		
包括的支援事業 (社会保障充実分)	生活支援体制整備事業	互近所ささえ～隊会議 (協議体会議)	全 体			28日							22日			市全体の協議体員とSCを集めての研修会と年度末に活動を発表する場を設け、さわやか福祉財団インストラクターや県担当者からそれぞれの協議体活動について助言してもらった。		
			1 層		30日			22日				18日				H29年度から実施の事業。各地域に合ったささえあいのしくみづくりを広げるため、今年度は各協議体共通の取組みとして①、②を実施した。		
			荒 川		31日							1日		15日			①市民への啓発(SC・協議体について、助け合いの仕組みづくりについて)・①集落をモデル地区としてアンケート調査を実施し、座談会で意見を聞くことが出来た。荒川地区一人暮らし高齢者昼食会では、支え合いの大切さについて寸劇を披露した。	
			神 林			8日	13日			16日		8日					地域別フォーラムを5地区で行うことができた。地域包括ケアシステムや、支えあいの大切さについて、市民の方と考えることで、これらの周知につながった。	
			村 上															5地区それぞれのまちづくり協議会に出向き、協議体や地域における助け合いについて共有し、様々なイベントの場で周知活動を行った。
			朝 日			15日	20日			30日				23日				互近所ささえ～隊の周知や住民アンケートを実施した。アンケートより、困りごとはあるが近所には頼みにくいということが明確になったため、楡原集落をモデル地区として座談会を開催した。老若男女たくさんの方が集まっていた。隣近所の支え合いが大事であることを再認
			山 北		26日		24日			14日				7日				山北福祉まつりで支え合い寸劇披露、3集落でワークショップを開催した。また茶の間関係者を対象に研修会も実施した。
	生活ささえ愛隊長(SC)連絡会				28日						11日		22日				他地区の協議体活動について情報交換したり、SCや協議体活動の課題や方向性をSC・包括担当役員で話し合えるいい機会となった。	
在宅医療・介護連携推進事業	在宅医療推進委員会					3日							8日	メンバー:医師会・歯科医師会・薬剤師会・訪問看護・リハビリ専門職・栄養士会・村上保健所・粟島浦村・関川村・村上市	在宅医療を推進するための会議。年に2回開催され、在宅医療推進センター事業についての計画・承認を行う。			
	在宅医療推進センター実務担当者会議	20日	11日	6日	12日	8日	6日	13日	2日	8日	17日	15日	1日	メンバー:在宅医療推進センター事務局・在宅歯科連携室・村上地域振興局健康福祉部・粟島浦村・関川村・村上市	在宅医療・介護連携推進のために、ケアマネが医師と語る会やICT活用研修会、在宅医療普及講演会等の事業を行った。			
認知症総合支援事業	認知症初期集中支援推進事業							26日		1日～設置						12月1日に設置したが、実績は0。		
	認知症対策推進会議								26日							認知症対策推進会議と認知症初期集中支援チーム検討会を同日実施。同じメンバーで行った。		
	認知症カフェ 介護者のつどい	全 体									8日						介護者の座談会、認知症の講話、温泉浴、昼食会を通して介護者同士の交流など1日過ごす。	
		荒 川							25日	29日							会場:10月 GHたかつぼ 11月 GHあらかわ	
		神 林		14日		23日			22日	19日		21日		11日			会場:GHまつかぜ 午後～	
		村 上	26日	24日	28日	26日	23日	27日	18日	22日	20日	24日	21日	24日			参加者は毎回楽しみにしてくれている。毎回新規の参加あり、会場が手狭に。ボランティアの人が来てくれるので助かる。	
		朝 日		14日	18日	16日	20日	17日	14日	19日	17日	28日	18日	18日			会場:GHふるさと	
山 北			27日				28日					14日			会場:GHさんぼく			
任意事業	認知症サポーター養成講座	全 体	13日、17日	15日、17日、18日	3日、16日、25日、27日	9日、10日、19日、31日	18日、24日、31日	7日、18日					10日(ステップ)	2日	村上市の出前講座にステップアップ講座も追加	病院や銀行、専門学校などでも講座を開催できた。来年度も若い世代に聞いてもらう機会がもてるようPRを行っていく。		
	認知症高齢者見守り事業	ステッカー配布														現在12件の登録あり。今後も必要な人への周知を行う。		
		GPS							1日～開始							セコム上信越に委託		
	市報	内 容	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	15日	1日	1日			毎月「地域包括支援センターだより」を掲載事業等はお知らせ版に掲載		
	イ ベ ント								1日								ふれあいフェスティバル(福祉まつり)	